

Society5.0・Connected Industries実現に向けて

第1回セミナー「地域商社が地域を起こす」

～目指せ！日本一ゆる～い産学官金協同体～(略称:ゆる協)

<開催報告>

中小機構東北本部では、40名の方に参加いただきセミナーを開催いたしました。



※参加人数40名
ゲストの話を熱心に傾聴する参加者

●日時:平成29年11月8日(水)

●会場:中小企業基盤整備機構 東北本部 セミナー室

●ゲスト…有限会社 マイティー千葉重 代表取締役 千葉大貴氏

株式会社 あきた森の宅配便 代表取締役社長 栗山奈津子氏

【プログラム】案内人:中小機構東北 経営支援部長 中島康明

16:00 主催者挨拶 中小機構東北 本部長 高村 誠人

16:10 第1部<識る>セミナー「地域商社とはなにか？」

17:30 第2部<関わる>質疑応答(パネルディスカッション)

18:30 第3部<始める>意見交換・交流会



※寄せられた質問は、内容ごとに分けマインドマップとして見える化。Q&A形式で展開。

第1部<識る>セミナー「地域商社とはなにか？」



千葉大貴氏は、地域プロジェクトのノウハウについて語る

地域プロジェクトを始めるにあたっては、小さく始める事を考えて工夫してみること。また地域に在る物の組合せを基本とすること。さらに地域についての正確な情報と、地域が一体となるための情熱を持っていることが必要です。



栗山奈津子氏は、田舎だからできるビジネス展開を語る

栗山氏は、高校3年時に「山菜取り代行サービス」を思いついたが学生のため父親が創業。就職した際「60歳の時の自分を想像できるか。」の言葉をきっかけにUターンを決意し2代目社長に就任。天然食材と、山の名人とのビジネスの展開は、田舎だからできるのです。

第2部<関わる>質疑応答 (パネルディスカッション)



Q&A(抜粋)

Q:新ビジネスの成功のポイントは。
A:当社では、社内公募で3人以上手が挙げたものに着手。その際、成功のポイントは不足する機能を外部から導入することです。



Q:山の名人たちのメリットは。
A:例えば 環境大臣賞を受賞し取材機会が増加、山の名人への注目度がアップすることで刺激を受け、活き活き過ごしています。

第3部<始める>意見交換・交流会



※超ユル～イリラックスした雰囲気交流会からの、意見交換、連携が始まった！

<目指せ！日本一ゆる～い産学官金協同体(ゆる協)とは？>

AIの発達、IoTの進展が見られる中、多様な人・組織・機械・技術・国家がつながり、新たな付加価値を創出し、社会課題を解決していくためには、異種・異質なあらゆるセクター・人のつながり求められ、同時に過度に硬直的な連携体や組織ではなく、時代や環境変化に即応できる緩やかなネットワークが求められるのではないのでしょうか…